

平成27年度経営発達支援計画の実績報告
及び事業の評価及び見直しの結果報告

わかさ東商工会

H28.6.29

1. 地域の経済動向調査

次のアンケート調査及び情報を収集し、巡回・窓口支援の現場において活用した。

- 消費拡大アンケート調査（若狭町1回、美浜町1回、両町合同1回：計3回）
- 原発関連アンケート調査
- 敦賀信用金庫地域調査情報
- 全国連（景況調査情報）
- 観光協会（広域行政組合調査情報）

総合評価	C
今後の展開、改善について	
・消費拡大にかかるアンケート調査は継続実施	
・その他支援機関が保有する調査情報を有効活用	
・地域内観光宿泊事業者（150件）を対象とした調査事業実施	

2. 経営状況の分析

地域内小規模事業者支援に活用するための事業者の基礎データについて下記の方法により収集し、各支援現場において活用した。

- 商工会基幹システムにより、業種、従業員数等の基礎データを保持 956件
- 労働保険事務委託業務により、業種、従業員数等の基礎データを保持 179件
- ネットde記帳の導入、運用支援により財務状況等の経営データを保持 67件
- 税務指導により売上高等の決算状況を保持 177件

総合評価	A
今後の展開、改善について	
・蓄積しているデータを各経営支援現場において活用	
・経営計画策定支援において積極的に活用	
・経営分析資料を小規模事業者に積極的に提供	

3. 事業計画策定支援

地域内小規模事業者の事業計画策定について、次の支援施策により推進した。

- みらい経営塾：全5回（資金繰り、SWOT分析を活用した実践研修）15件
- 小規模事業者持続化補助金申請に向けた計画策定支援 37件
- ものづくり補助金活用に向けた計画策定支援 1件
- 老舗チャレンジ応援事業補助金活用に向けた計画策定支援 7件
- 新分野新出スタートアップ補助金活用に向けた計画策定支援 2件
- 広域展示販売促進事業活用に向けた計画策定支援 1件

- 経営計画策定支援によるマル経幹旋 41 件
- 公庫資金（経営力強化資金）活用のための計画策定支援 3 件

総合評価	A
今後の展開、改善について <ul style="list-style-type: none"> ・経営計画策定に結びつくセミナー・経営塾を開催 ・小規模事業者に対し、経営計画策定の重要性を啓蒙（新聞チラシ） 	

4. 事業計画策定後の実施支援

前項において事業計画策定を支援した案件について、次の方法によりフォローアップを実施した。

- マル経資金を活用した事業所に対し年4回の巡回によるフォローアップ 82 回
- 専門家派遣制度を活用し計画策定後のフォローを実施 25 回
- 巡回指導によるフォローアップ 148 回

総合評価	A
今後の展開、改善について <ul style="list-style-type: none"> ・計画策定を支援した事業者を集中的に巡回、状況ヒアリングする ・専門家派遣事業を有効活用し支援効果を高める 	

5. 需要動向調査

地域内小規模事業者の商品、サービスの動向について、次の調査情報を提供し、経営改善支援に活用した。

- プレミアム商品券事業の消費者アンケート調査結果（美浜町、若狭町）
- 伴走型補助金により実施した観光動向調査（実施機関：㈱トラスパートナーズ）
- じゃらん観光調査
- 日経なんでもランキング
- その他、日経テレコンや売れ筋商品情報

総合評価	C
今後の展開、改善について <ul style="list-style-type: none"> ・小規模事業者個々の経営状況に応じてデータをカスタマイズ ・売れ筋情報や顧客情報の有効活用に向けた戦略提案 	

6. 新たな需要開拓に寄与する事業

地域内小規模事業者の販路拡大に向けて実施あるいは参加した展示会、商談会、販売会

- やる気マッチング商談会 3社
- 道の駅商談会（高浜町商工会、おおい町商工会と連携） 7社
- 金沢市販売促進イベント 3社
- しんきんビジネス商談会 8社
- なびフェス（美浜町産業祭） 3社
- 若狭路センチュリーライド 5社
- 県庁販売会 5社
- 熊川いっぷく時代村販売会 4社
- 若狭町祭り：スイーツ販売会 5社
- 若狭軽トラック市 3社

地域内小規模事業者の販路拡大に向けて実施した施策

- 専門家派遣事業（HP作成支援）10社
- 100万会員ネットを活用したHP作成支援 12社
- 伴走型補助事業によるITセミナー専門家による現地支援 6社
- 持続化補助金活用による販路拡大支援 36社

総合評価	B
今後の展開、改善について	
・効果が見込めるイベントを選定し、効果を高める	
・ネットショップ運用ノウハウ提供のためのセミナーを実施	
・販路拡大に向けた専門家派遣、持続化補助金等活用の積極提案	

7. 地域経済活性化に資する取り組み

次の会議並びにイベントに参画するとともに、情報交換、協議を行い、地域活性化に向けた取り組みに寄与した。

- 熊川いっぷく時代村実行委員会
- 若狭町伝統的食材活用商品開発実行委員会
- 国際シンポジウム交流会
- 夏フェスタ美浜、企画、実行委員会
- Mihama 商工会サミット実行委員会
- 若狭町祭実行委員会
- 若狭路スポーツトリッププロジェクト

総合評価	A
今後の展開、改善について	
・行政、観光協会をはじめとする他団体との連携強化	

8. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換

次の支援機関との連携により支援ノウハウの共有や情報交換を行い、各経営現場に活用した

- 県内横断型企業支援チーム（連携先：産業支援センター、福井商工会会議所）
- 高度支援チーム連携会議（連携先：福井県商工会連合会）
- 嶺南地域商工会連絡協議会（連携先：おおい町商工会、高浜町商工会）
- マル経協議会（連携先：日本政策金融公庫武生支店）

総合評価	B
<p>今後の展開、改善について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 連携会議や協議会を継続的に実施し、友好的な支援ノウハウを共有 ・ 士業（診断士、税理士等）との連携を深めるための機会創出 ・ 各指導員が他の支援機関メンバーと能動的に情報交換、連携支援できる体制を推進 	

9. 経営指導員等の支援能力向上

経営指導員が次の研修等に参加し支援能力向上につなげた。

- 県連合会が主催する経営支援員向け研修（20h）
- 県内支援機関横断型企業支援チーム研修（2回）
- 小規模事業者支援研修（3日間）
- IT活用研修 ● 横断型企業支援チームでの企業支援（1企業）
- 経営指導員等WEB研修 など

総合評価	B
<p>今後の展開、改善について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中小機構が主催する合宿型研修への積極参加 ・ 各指導員が資格取得を含めた支援能力向上計画を策定し、能動的に研修や資格取得をすすめる環境づくりを目指す 	

10. 支援ノウハウ等を組織内で共有する体制

- 各指導員が支援した事例（特に補助事業活用のための計画策定）について共有サーバーに保存し、随時ノウハウを共有した。
- 経営支援会議（連絡会議）により情報を共有

総合評価	A
<p>今後の展開、改善について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各指導員相互の連携関係を蜜にする。 ・ 支援案件を共有し、複数で支援する体制をとる。 (特に商工会認証システム機会とした支援において実践) 	

1 1. 主な施策利用状況

- 持続化補助金申請件数 41 件（うち採択 38 件）
- 経営改善貸付（マル経資金）42 件
- 経営発達支援資金（第2マル経）0 件
- 新分野スタートアップ補助金活用支援 2 件
- ものづくり補助金活用支援 1 件
- ふくいの老舗企業チャレンジ事業支援 7 件
- 福井県事業承継支援事業 2 件

総合評価	B
今後の展開、改善について	
・小規模事業者に有益な支援施策情報を収集し、定期的に周知	
・支援施策活用事例を蓄積し、類似案件に活用	

事業評価、見直しについて、平成28年5月23日（月）に実施した、前野中小企業診断士及び各指導員、事務局長を含めた本事業検討会議において、事業評価及び見直しを行った。

又、その結果について平成28年6月28日（水）に実施した本会理事会において報告し、承諾を得た。

尚、評価は次の5段階とした。

（定 量）

5. 目標を100%達成した
4. 目標の90%を達成した
3. 目標の70%を達成した
2. 目標の50%を達成した
1. 目標の50%以下であった

（定 性）

5. 優先課題として積極的に目標を達成した
4. 積極的に取り組んだが目標に至らなかった
3. 取り組んだが目標達成に不十分であった
2. 取り組んだが効果があまりなかった
1. ほとんど取り組めなかった